

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち			評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立				課(室)名	政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進				電話番号	087-839-2135
	基本事業	効率的な行政運営の推進				事業実施主体	市
	事務事業	自治推進事業			事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	高松市の自治の基本理念や自治運営の基本原則などを定めた「高松市自治基本条例」に基づき、市民、議会、行政が連携・協力してまちづくりに取り組み、自治を推進することができるよう、周知広報に努めるとともに、自治の運営状況を把握し、検証するため自治推進審議会を開催する。				
5年度概要	高松市自治推進審議会（自治の推進状況及び条例の見直し等の検討） 条例パンフレットの配布 高松市自治基本条例逐条解説及び手引きの作成				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

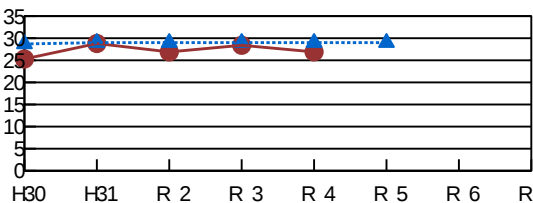
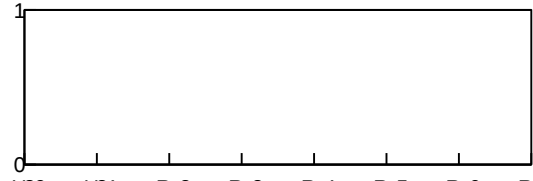
【事業の目的】

対象（何を）	市民（事業者、NPO、通勤通学者等含む）、議会、行政
意図（どのような状態にしたいか）	自治の担い手である市民、議会、行政が連携・協力して地域の個性や自立性を尊重した、市民主体の活力のあるまちづくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
審議会等の回数	回	1	1	1	1	1
パンフレット等配布数	部	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	施策全体の満足度（市民満足度調査）	%	目標値	29	29	29	29	29
			実績値	26.9	28.4	26.9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民満足度調査の結果では、施策全体の満足度は26.9%となっており、目標値に対して、92.8%の達成率となった。 (目標達成度) 							(達成度) 92.8% 32点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	3,058	1,947	2,369	2,310
（事業費）	〔円〕	65	59	124	65
（職員人件費）	〔円〕	2,993	1,888	2,245	2,245

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 自治の推進には、市民と行政の連携・協力が重要であるが、それには、地域コミュニティ協議会を構成する団体の中で、中心的な役割を担う自治会の存在が不可欠であるにもかかわらず、年々、自治会の加入率が低下していることから、高松市自治推進審議会にて、今後の「自治会の再生・活性化」の施策に関する意見交換を行った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 引き続き、自治の基本原則に基づく自治運営が行えるよう市内の各種事業の検証を行い、事業の見直しを行う。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち				評価担当	局名	財政局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立					課(室)名	ファシリティマネジメン
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進					電話番号	087-839-2262
	基本事業	効率的な行政運営の推進					事業実施主体	市
	事務事業	ファシリティマネジメント推進事業					事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の公共施設・公用施設は、老朽化が急速に進展しているが、今後の財政状況を考慮すると、全ての施設を現状のまま維持・更新することはできず、施設の保有総量を削減するなど、施設に係る経費の削減に取り組む。また、公共施設サービスの維持を図るため、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、経営的な観点から、施設の用途転用や共用化による有効活用の促進配置の見直し、複合化、未利用スペースの貸出しなどに取り組む。				
5年度概要	公の施設指定管理者選定委員会委員報酬 非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 F M推進支援専門員報償費及び旅費 システム委託料 その他				
重点取組事業		市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	内部管理事務

【事業の目的】

対象（何を）	市が保有する全ての公共施設（F M推進基本方針で対象外としている施設は除く。）を対象とする。
意図（どのような状態にしたいか）	中長期保全計画等の策定を行い、効率的・効果的な維持保全や長寿命化対策により、適切な維持管理を行うことで、財政負担の軽減や平準化に努めるとともに、市有施設の保有総量（延床面積）の最適化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
庁内プロジェクトチーム開催回数	回	2	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	各種方針・計画等策定の進捗率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 国の策定指針の改定に伴い公共施設等総合管理計画を改定した。 今後は、同計画及び公共施設再編整備計画の進捗管理に努めつつ、適宜、見直しを行っていく。 （目標達成度） （達成度） 100.0% 35点							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度） （達成度）							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	55,991	56,131	56,466	57,652
（事業費）	〔円〕	3,617	3,281	4,078	5,264
（職員人件費）	〔円〕	52,374	52,850	52,388	52,388

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
高松市公共施設等総合管理計画を改定し、公共施設再編整備計画の進捗管理に努め、10施設において実施計画が策定されたが、その他の施設所管課においては、施設の今後の利活用検討や関係者との調整に時間を要している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
ファシリティマネジメントの取組効果の早期発現に向け、公共施設再編整備計画において廃止等の方向性を定めた施設については、実施計画の策定を進めつつ、計画の推進に向けた具体的な取組を検討する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	行政改革推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2160
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	総合センター整備事業（行政改革推進室分）		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	住民ニーズの多様化、経済活力の低下に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、市政を取り巻く環境の変化や本市の将来的なまちづくりの方向性を踏まえて、市民の身近な行政機関である、支所・出張所で構成される地域行政組織について、現状と課題を検証し、行政資源の再配分と効率的運用を図るため、現状の「本庁・支所・出張所」の二層構造を、「本庁・総合センター・地区センター（仮称）」の三層構造に再編し、市民ニーズに的確に応えられる合理的な行政組織を目指す。「本庁・総合センター」なお、仏生山総合センターにおいては、幼児健康診査の機能を有する保健センターを整備し、高松市南部エリアの地域保健活動の充実を図る。				
5年度概要	特になし				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	

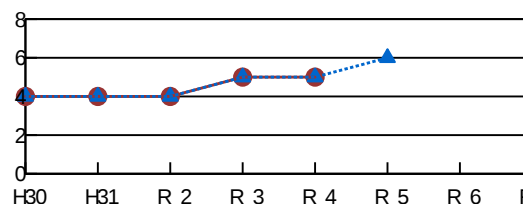
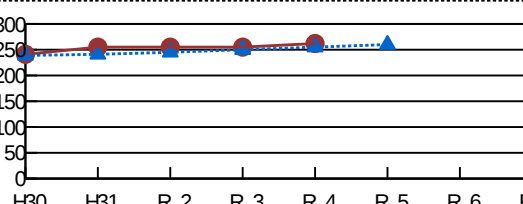
【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%	100	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	総合センターへの移行施設数	か所	目標値	4	5	5	6	6
			実績値	4	5	5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							（達成度） 100.0% 35点
	平成 2 9 年 1 月にオープンした牟礼・勝賀・国分寺・香川の各総合センターに加え、令和 4 年 3 月に仏生山総合センターが、5 年 4 月に山田総合センターがオープンすることにより、今まで以上に市民により近いところで幅広い行政サービスが提供でき、当初の目標を達成することができた。	（目標達成度） 						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	総合センターの取扱業務数	業務	目標値	245	250	255	260	260
			実績値	255	255	262		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							（達成度） 102.7% 35点
	令和 4 年度目標値 2 5 5 業務に対して実績値 2 6 2 業務を達成することができた。	（目標達成度） 						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	5,237	11,023	10,478	0
（事業費）	〔円〕				
（職員人件費）	〔円〕	5,237	11,023	10,478	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	完了
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
令和 5 年度からの支所・出張所の取扱業務や人員体制等について決定し、スムーズに移行ができるよう市ホームページ、広報誌、SNS 等を活用し、市民向けに周知を行った。地域行政組織再編に係る検証及び見直しについては、今後も継続して実施していく必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
令和 5 年 4 月に山田総合センターが開設されることに伴い、全地域において行政サービスの拠点となる 6 つの総合センターが整備されるほか、支所・出張所における取扱業務や人員配置について見直しを行い、新たな体制がスタートすることから、効率的な行政組織の構築が実現されるため、令和 4 年度末でプロジェクトチームを廃止し、その後の検証及び見直しについては、地域政策部で実施する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策		健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	地域振興課
	施策		効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2278
	基本事業		効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業		総合センター整備事業（地域振興課分）		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	住民ニーズの多様化、経済活力の低下に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、市政を取り巻く環境の変化や本市の将来的なまちづくりの方向性を踏まえて、市民の身近な行政機関である、支所・出張所で構成される地域行政組織について、現状と課題を検証し、行政資源の再配分と効率的運用を図るため、現状の「本庁・支所・出張所」の二層構造を、「本庁・総合センター・地区センター（仮称）」の三層構造に再編し、市民ニーズに的確に応えられる合理的な行政組織を目指す。「本庁・総合センター」なお、仏生山総合センターにおいては、幼児健康診査の機能を有する保健センターを整備し、高松市南部エリアの地域保健活動の充実を図る。				
5年度概要	【東部南】埋蔵文化財調度品整理 解体工事等 外構工事等 バスロータリー				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等整備

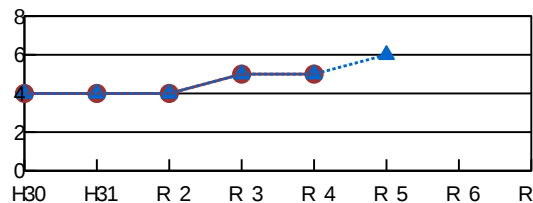
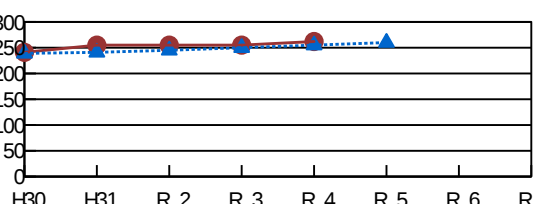
【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%	100	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	総合センターへの移行施設数	か所	目標値	4	5	5	6	6
			実績値	4	5	5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成 2 9 年 1 月 3 0 日に総合センターへ移行した牟礼・香川・勝賀・国分寺に加え、令和 4 年 3 月 1 日に仏生山総合センター、令和 5 年 4 月 1 日に山田総合センターがオープンしたことにより、今まで以上に市民により近いところで幅広い行政サービスが提供できるようになった。	（目標達成度） 						（達成度） 100.0% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和 4 年度目標値 2 5 5 業務に対して実績値 2 6 2 業務を達成することができた。	（目標達成度） 						（達成度） 102.7% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	400,781	1,027,371	521,138	238,232
（事業費）	〔円〕	385,817	1,012,271	513,654	230,748
（職員人件費）	〔円〕	14,964	15,100	7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
山田総合センターについては、山田支所の解体工事、外構工事に着手する。工事期間中の総合センター利用者に影響が出ないように調整していく。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
地域行政組織再編計画に基づき、市民ニーズに沿った行政サービスの提供を図る。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	健康づくり推進課
	施策		効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	839-2363
	基本事業		効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業		総合センター整備事業（健康づくり推進課分）		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	住民ニーズの多様化、経済活力の低下に伴う税収の減少や社会保障費の増大など、市政を取り巻く環境の変化や本市の将来的なまちづくりの方向性を踏まえて、市民の身近な行政機関である、支所・出張所で構成される地域行政組織について、現状と課題を検証し、行政資源の再配分と効率的運用を図るため、現状の「本庁・支所・出張所」の二層構造を、「本庁・総合センター・地区センター（仮称）」の三層構造に再編し、市民ニーズに的確にこたえられる合理的な行政組織を目指す。本庁・総合センター・地区センター（仮称）の三層構造に再編し、市民ニーズに的確にこたえられる合理的な行政組織を目指す。本庁・総合センター・地区センター（仮称）の三層構造に再編し、市民ニーズに的確にこたえられる合理的な行政組織を目指す。なお、仏生山総合センターにおいては、幼児健康診査の機能を有する保健センターを整備し、高松市南部エリアの地域保健活動の充実を図る。				
5年度概要					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等整備

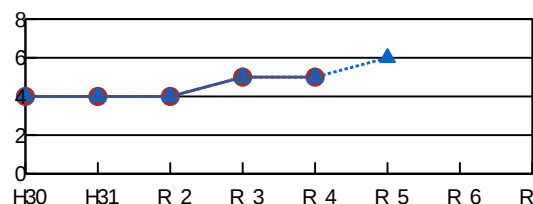
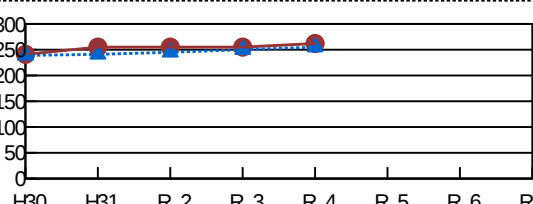
【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
整備事業の進捗率（事業費ベース）	%	100	100			100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
	総合センターへの移行施設数	か所	目標値	4	5	5	6	5	
			実績値	4	5	5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								（達成度） 100.0% 35点
平成 2 9年 1月 3 0日にオープンした牟礼・勝賀・国分寺・香川の各総合センターや令和 4年 3月 1日にオープンした仏生山総合センターに加え、令和 5年 4月 1日に山田総合センターをオープンしたことで、今まで以上に市民により近いところで幅広い行政サービスが提供でき、当初の目標を達成することができた。		（目標達成度） 							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
	総合センターの取扱業務数	業務	目標値	245	250	255		255	
			実績値	255	255	262			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								（達成度） 102.7% 35点
令和 4年度目標値 2 5 5業務に対して実績値 2 6 2業務を達成することができた。		（目標達成度） 							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	50,005	468,473	342,781	0
（事業費）	〔円〕	49,257	464,698	339,039	
（職員人件費）	〔円〕	748	3,775	3,742	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	完了
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
山田総合センターの開設に向け地域振興課や地域包括支援センターと連携を図りながら準備を進め、無事に業務を開始した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
6つの総合センター全てにおいて保健センター窓口を開設した。今後も市民に近いところできめ細やかなサービスの提供に努めていく。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策		健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策		効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業		効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業		次期総合計画策定事業	事業期間	令和 3年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	「第6次高松市総合計画」の計画期間が令和5年度で終了することから、新たな目標と発展の方向性を定め、各種施策・事業を総合的かつ計画的に推進するため、市政運営の基本方針としての次期高松市総合計画を策定する。					
5年度概要	・次期総合計画策定 ・意見交換会等開催 ・総合計画審議会開催					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	次期高松市総合計画（全市域、全市民）					
意図（どのような状態にしたいか）	高松市の新たな目標と発展の方向性を定め、各種施策・事業を総合的かつ計画的に推進するため、市政運営の基本方針としての次期高松市総合計画を策定する。					

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
策定に係る各種会議の開催回数	回		0	12	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	次期総合計画策定進捗率	%	目標値		20	40	100	100
			実績値		20	40		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 次期高松市総合計画の策定に向けて、予定どおり構成及び施策体系を取りまとめた骨子案を策定し、目標を達成できた。 (目標達成度) 							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕		21,307	23,571	44,313
（事業費）	〔円〕		9,227	10,100	30,842
（職員人件費）	〔円〕		12,080	13,471	13,471

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
若い世代が、立場や世代を超え、フラットにまちづくりについてディスカッションできるワークショップ「たかまつ F L A T M e e t i n g」と市議会議員との意見交換会を開催し、市民の意見を反映しながら、次期総合計画骨子を取りまとめ、素案作成を行った。今後は、新たな目標と発展の方向性を定め、市民に身近で分かりやすい計画となるよう策定する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
総合計画審議会や市民と市長の意見交換会等、市民と連携を図りながら、次期総合計画を策定する。 また、市民に身近で分かりやすい計画となるよう、できるかぎりシンプルな構成や表記とし、デジタル技術も活用しながら、本市のまちづくりを効果的に発信していく。 さらに、社会情勢に合わせた課題を的確に把握し、各施策が効果的に推進できるよう、組織や分野を超えて横断的に取り組むことができる体制を構築していく。			